

# 緊急の応急処置法について

城北高校

203HR 有田沙月 上田優月 大輪二千翔  
筒井智也 松前心良

期間：9月6日～11月27日

チーム全員がスポーツに携わっており、突然の体調不良や怪我に対応できるようになりたいと思いました。今回は西消防署で行われた救命講習に参加して、目の前で心肺停止状態になった人に対しての対応の仕方を学び、より多くの人に知ってもらおうと思いました。



[unic.or.jp](http://unic.or.jp)

# 活動内容

- 徳島県で行われている救命講習を市のホームページで調べると、東消防署と西消防署で月に一度、交互で救命講習が行われていたのでその救命講習に参加した。
- 救命講習の他にインターネットや、図書館で借りた本を使って調べた。
- 校内にあるAEDの場所を探した。



# 初めて知ったこと

## もし心臓の機能が停止すると...

→血液の流れが止まり脳や体のすみずみまで酸素や栄養が届かなくなる。

→3分で脳の細胞が機能しなくなり死に至る。

そのために...

倒れて呼吸と意識がない人に心肺蘇生を行う。



心臓の機能をよみがえらせることで命が助かる可能性が高くなる。

## AEDとは...

- 心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器。
- AEDは心室細動が起きている時だけに発動するため、心肺停止状態でいつでも発動する訳ではない。

# 結果

---

校内のAEDの設置場所を見ると北館に一台もなかったなので、もしもの時のために置いておく必要があると思いました。

---

救急車が到着するまでの間、心肺停止状態になっている人に対して3分という限られた時間の中で、近くにいる私たちがどれだけ早く処置をし、命を助けることができるかが大切だと思いました。

---

私たちも目の前で苦しんでいる人や、その苦しんでいる人に対してどうしていいかわからない人がいたら、自分から行動して指示を出すなどして、少しでも多くの人を助けたいと思っています。

